

浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第1回運営委員会

令和7年7月17日(木)





1. 開会あいさつ

2. 新規委員の紹介

3. デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

- ① 第2期デジタル・スマートシティ構想について
- ② 交流の場の充実
- ③ 課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実
- ④ 若者の巻き込み
- ⑤ Well-Beingの向上
- ⑥ 令和7年度の各種取組スケジュール

4. 各委員からの取組発表・意見交換

5. 副委員長からの意見

開会あいさつ

委員長（浜松市副市長） 山名 裕

新規委員の紹介





会議進行上のお願い

1. 会議参加時

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

2. ご発言時

- **オンラインでの参加者**

「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。

- **現地参加者**

テーブルのマイクにてご発言ください。

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

第2期デジタル・スマートシティ構想について

交流の場の充実

課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実

若者の巻き込み

Well-Beingの向上

令和7年度の各種取組スケジュール

令和7年4月1日付で「浜松市デジタル・スマートシティ構想」を改定

■ 目指す方向性（基本理念）

「市民QoL（生活の質）の向上」
「都市の最適化」

「Well-Beingの向上」
「都市の最適化」

「必要な視点」として「ジェンダード・イノベーション」を追加

※ジェンダード・イノベーション

性別や社会的性差（ジェンダー）の観点を研究開発に組み込むことで、より包括的で効果的なイノベーションを生み出すアプローチ

■ 推進体制

- 「浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム」の役割などが見える化
- 将来像を共有し、バックカスティングでプロジェクトを創出



重点取組分野

デジタル庁の「地域幸福度（Well-Being）指標」の考え方を取り入れ、次の4つのカテゴリーに分けて整理

①人と人・心と心をデジタルで紡ぐ （Connected-City）

①人と人・心と心をデジタルで紡ぐ

Connected-City

多様性・包摂性

- 次世代を担う若者世代の生き残り
- 関係人口の拡大や多様な居住の促進
- オンラインプラットフォームを活用した子供・若者等への関与機会
- 市営施設等のオープンデータ化の促進
- オープンデータプラットフォーム（ODP）の活用と利活用
- デジタル活用による移住の促進

観光

- デジタルマーケティングの活用による食や自然、歴史文化などの観光資源の顕微鏡
- ビッグデータを活用した観光マーケティングの推進
- デジタル技術を活用した観光振興の促進



②あなたの挑戦がまちをアップグレード

Challenging-City

産業（ものづくり・農林水産業）

- スタートアップと地域企業との連携プラットフォームによるオープンイノベーションの推進
- 中小企業の生産性向上に向けたDX推進、イノベーション創出
- ICT企業誘致による地域振興のDX推進
- ロボット技術やICTなどの先端技術を活用したスマート農林水産業の推進
- 高校主導を対象としたデジタル人材育成の推進
- デジタル分野におけるリレント・リスクリングの推進

音楽文化・エンターテインメント

- デジタル技術を活用した文化事業の実施
- インターネットを活用した音楽文化等の発信と多様なプログラムの推進
- エンターテインメントに新たな価値を創出する取り組みの推進



②あなたの挑戦がまちをアップグレード （Challenging-City）

③データが導く暮らしやすさ （Liveable-City）

③データが導く暮らしやすさ

Liveable-City

ウェルネス・医療・福祉

- 「予防・健康都市計画」策定に向けた市民連携
- 健康寿命を延ばす生活習慣改善の啓発、医療・ヘルスケアに関する情報発信
- 地域市民ヘルスケアアプリ「はままっく健康アップ」を活用した市民の行動変容
- スポーツ分野におけるニーズとサービスを繋ぐプラットフォーム構築（「する」「みる」「はまえる」の相乗効果創出）
- オンライン活用によるスポーツ振興の機会拡大
- 従来のスポーツからeスポーツ等広範囲にスポーツ面で、誰もが一緒に楽しめる多様なスポーツの普及と認知向上

教育・子育て

- ICT等を活用した子供や子育て世代への効率的な情報提供や相談体制の構築
- 教育DXの推進と教育データの活用による教育の多様化・充実化の推進
- デジタルツールを活用した個別指導・協働的な学びの体系的な実現
- 教育データ活用による子供一人一人に合った学びの支援の充実

デジタル・ガバメント

- 医療・福祉・子育てサービスのデジタル連携促進
- フロントワード改革（市民と自治体との協働の多様化・充実化）の推進
- 市民データ分析推進等によるデータに基づく課題解決の推進
- デジタルを活用した業務改善の推進
- デジタル変革人材（DXコメンタリー及びDXメンター）の育成



④ハード（強さ）とソフト（やさしさ） の共生で未来を守る （Resilient-City）

④ハード（強さ）とソフト（やさしさ） の共生で未来を守る

Resilient-City

災害レジリエンス

- 災害予知や災害状況のリアルタイム把握
- 災害発生時の迅速な情報伝達
- ドローンやセンサー等によるインフラの劣化検知
- データ連携等による連携による避難経路や避難行動データなどの収集及び分析など、防災対策のデータ活用促進
- LTE網を活用する次世代防災無線共有システムの導入と、不特定等へのインフラの維持
- 都市情報のデジタル化、オープンデータ化と利活用の推進

カーボンニュートラル・脱炭素、ネイチャーポジティブ

- デジタル技術を活用した環境モニタリングや脱炭素ライフスタイルの推進
- エネルギーマネジメントシステムの導入促進
- グリーン・デジタルによる環境と経済の両立の推進、イノベーションの推進
- FSC認証に基づく森林認証材の利用
- FSC認証材におけるカーボンフットプリントの創出

モビリティ

- 環境サービスとモビリティの連携促進（自転車、電動自転車、電動バイク、電動スクーターなど）
- 交通渋滞解消のためのデータ活用促進
- 自動運転技術を活用したモビリティサービスの推進
- 移動データ等の活用による交通渋滞の解消
- 交通利用に関する電子メールサービス
- 有事を見据えたモビリティのサービス・デザイン



目指す方向性
（基本理念）
Well-Beingの
向上
都市の最適化

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組



デジタル・スマートシティ構想について

交流の場の充実（フォーラム）

課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実

若者の巻き込み

Well-Beingの向上

令和7年度の各種取組スケジュール

目的

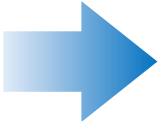
分野間の連携や会員間の**情報共有・連携を促進**することで**地域課題の解決**や**新たなビジネスの創出**を図る。

対象

どなたでも（参加費無料）

前回 からの 変更点

会員間、参加者間の交流を促進するため開催方法を変更します。

- オンライン開催  **ハイブリッド開催**に変更
オンライン参加に加え、会場を設けて現地参加も可能とします。
- **現地参加者の交流会**（1時間程度）を設定
- 基調講演（有識者1名による講演）
- トークセッション（有識者複数名によるパネルディスカッション）
- 現地参加者の交流会



現在、内容について調整中のため、確定次第お知らせします。

プログラム 概要 （予定）

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

デジタル・スマートシティ構想について

交流の場の充実

課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実

(ソリューションピッチ&ミートアップイベント、データ連携基盤に係る取組)

若者の巻き込み

Well-Beingの向上

令和7年度の各種取組スケジュール

官民連携PF会員間の連携促進等を目的に、ミートアップイベントを開催

事業目的

官民連携による地域課題の解決や、官民連携プラットフォーム会員間の連携促進

事業内容

- ・プラットフォームの会員によるソリューション紹介のピッチと参加者の交流会を組み合わせた交流・連携促進イベント

- ・令和7年度は**2回開催**予定（※令和6年度は1回開催）

第1回：令和7年9月 第2回：令和8年1月（予定）

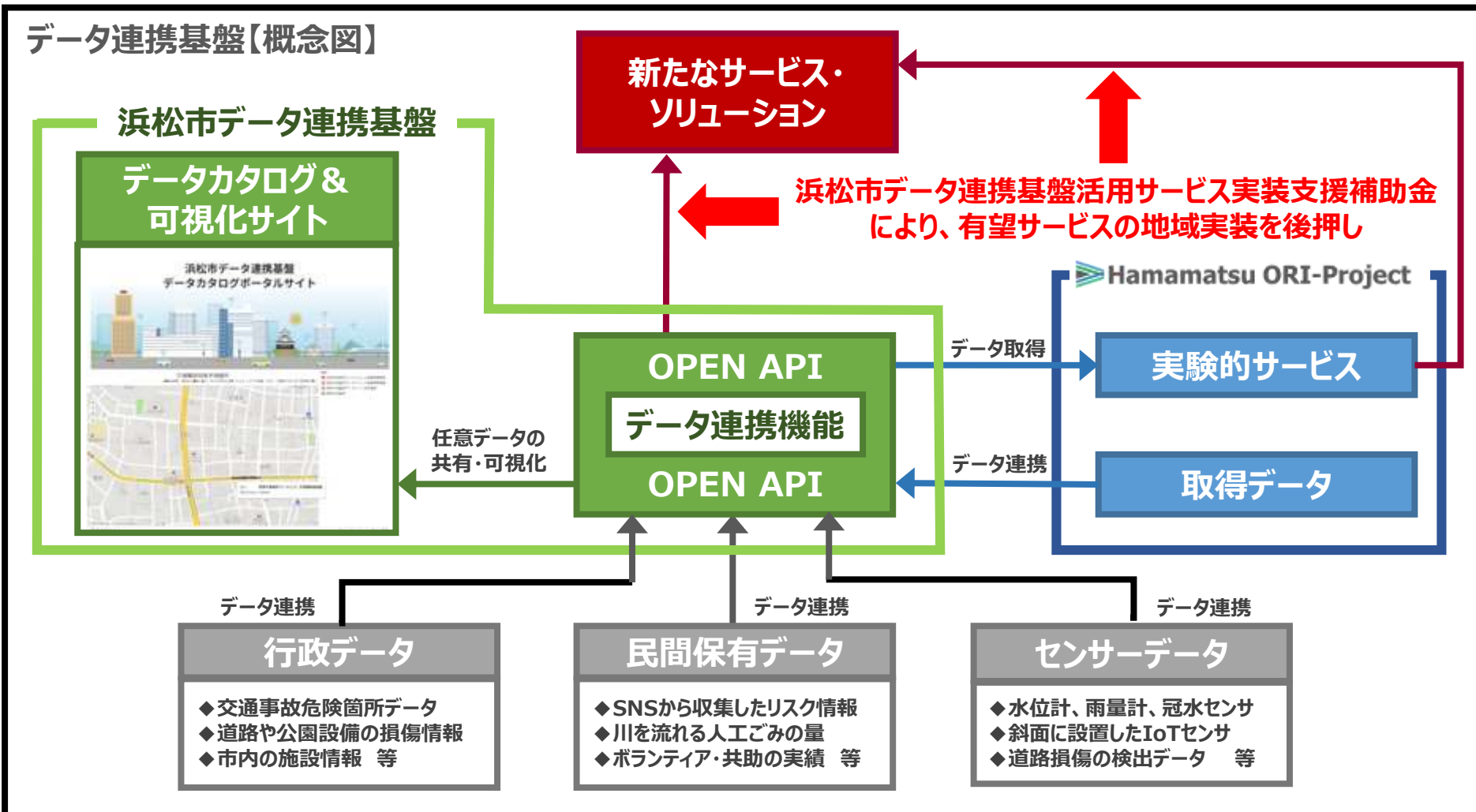
※まもなく第1回の参加募集開始！（ピッチ登壇者、一般参加者）



昨年度のイベント（令和6年9月開催）の様子 43人が参加

- データ連携基盤は、データの翻訳と認証送達機能を核とし、分散して存在する多種多様なデータの「ハブ」となり、「データの流通・連携を促進」する機能をもった基盤
- 浜松市は、令和4年度末に本番運用環境のデータ連携基盤をSaaSとして導入し稼働

データ連携基盤【概念図】



※現在外部に提供しているデータは「○」で囲んでいます。



AI分析によって導き出した市内の
交通事故発生危険箇所データ



市の冠水頻発エリアに設置された
冠水センサや水位計の観測データ



河川水面の動画解析により推計した
河川を流れるごみの量のデータ



市内の斜面に設置された計測器の
観測データ (**土砂災害の監視**)



市内の障害者施設などで検知された
笑顔のデータ (場所、回数、時間)



作業中の林業従事者の位置情報
(**林業従事者の安全確保**)



避難所の**防災備蓄物資**データ



中心市街地の**人流データ** (実績)



車載カメラとAI分析によって検出した
道路損傷箇所のデータ



SNSの投稿等からAIで収集した**市内
の災害・事故リスク**情報



市民の投稿による**道路や公園設備の
損傷情報、不法投棄の通報**情報など



市内で行われた**ボランティア活動や
助け合いの実績**データ



共助型**地域交通の運行データ**



市内の河川付近の水位計や雨量計
の観測データ (**水害発生**の監視)



複合センサの観測データ
(**気温、CO2濃度、混雑度** 等)



市内の**盛土箇所**データ



市内の**スポーツ・文化施設等の予約
実績**データ

■ 浜松市データ連携基盤データカタログポータルサイト

<https://datapatformportal.city.hamamatsu.shizuoka.jp>

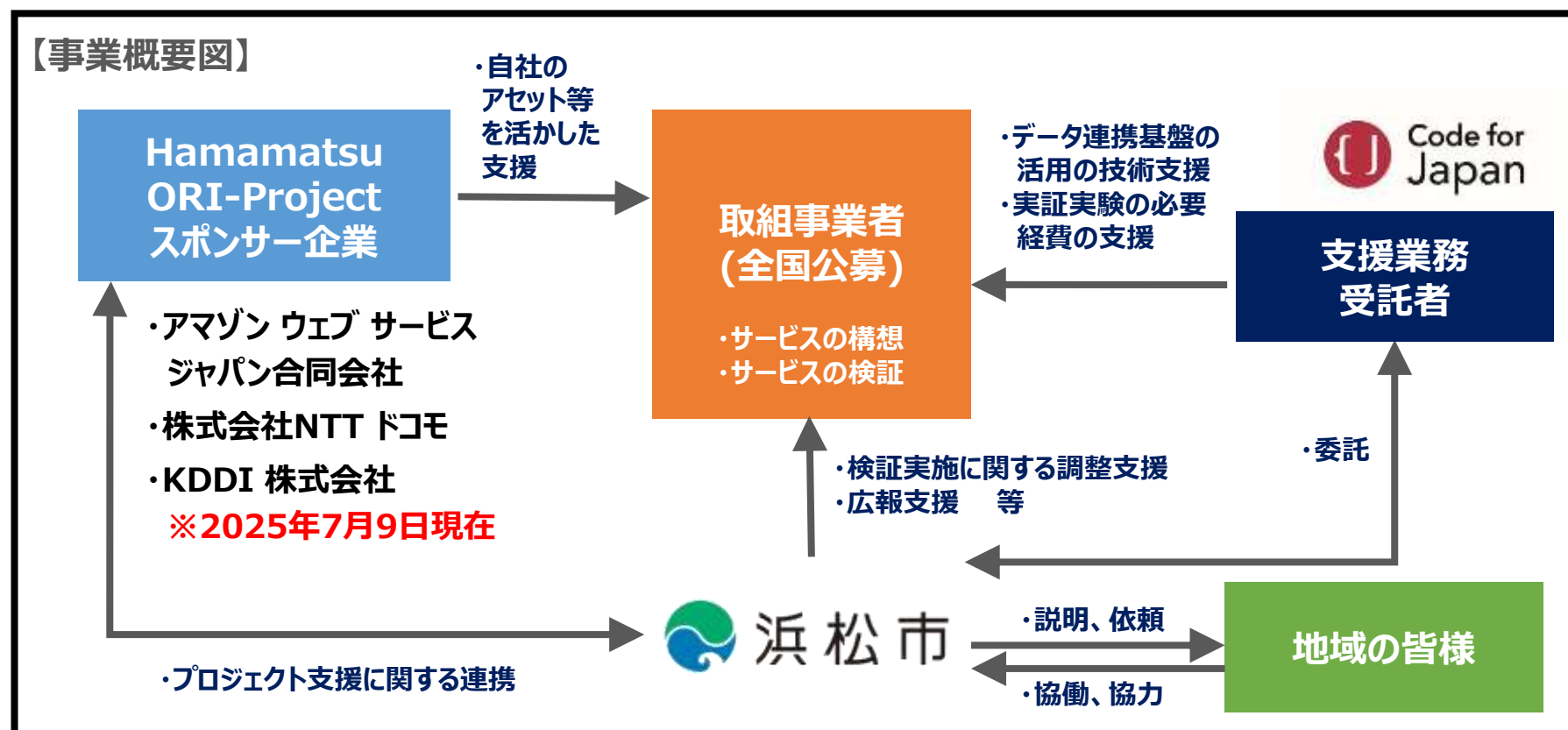
- ・ 浜松市データ連携基盤を活用した新たなサービスやアプリケーションの創出を目指す取組（サービスの 構想及びその検証）に対し、浜松市や連携支援団体が総合的な支援を行う
- ・ 令和2年度からスタートし、令和6年度までに25件の実証実験を支援

➤ **Hamamatsu ORI-Project** 正式名称：浜松市データ連携基盤活用モデル事例創出事業

事業の目的

データ連携基盤を有効活用した新たなサービスやアプリケーションの官民共創

【事業概要図】



今年度のHamamatsu ORI-Projectでは、次の2つの取組を並行して実施

Hamamatsu ORI-Project

1 地域課題解決型（データを活用した地域課題の解決策の検証）

市内の各部門から提示された課題テーマについて、データを活用して解決を図るプロジェクトを公募し、有望案件について浜松市内における実証実験を支援。

採択予定件数3件のうち2件程度はデータ連携基盤を活用する案件とする。

※昨年度からの変更点：対象要件の拡充（将来的に浜松市データ連携基盤にデータ連携できる見込みのある案件の実証も支援対象に追加）、経費面の支援の追加

2（仮称）“データ・フュージョン・キャンプ2025”の実施

浜松市データ連携基盤に接続されたデータ等を活用した、新たなサービスやアプリの構想支援に資するイベント（ハッカソンやデータソン等を想定）を開催し、当該イベントを通じて創発された有望なサービスやアプリの試作プロジェクト（2件程度）について継続して支援。

※昨年度からの変更点：有望案件に対する経費面の支援の追加

- 過年度のHamamatsu ORI-Projectの支援案件など、データ連携基盤を活用したサービスの地域実装に向けた取組に対する補助制度
- 令和4年度から開始し、令和6年度までに8件の活用実績

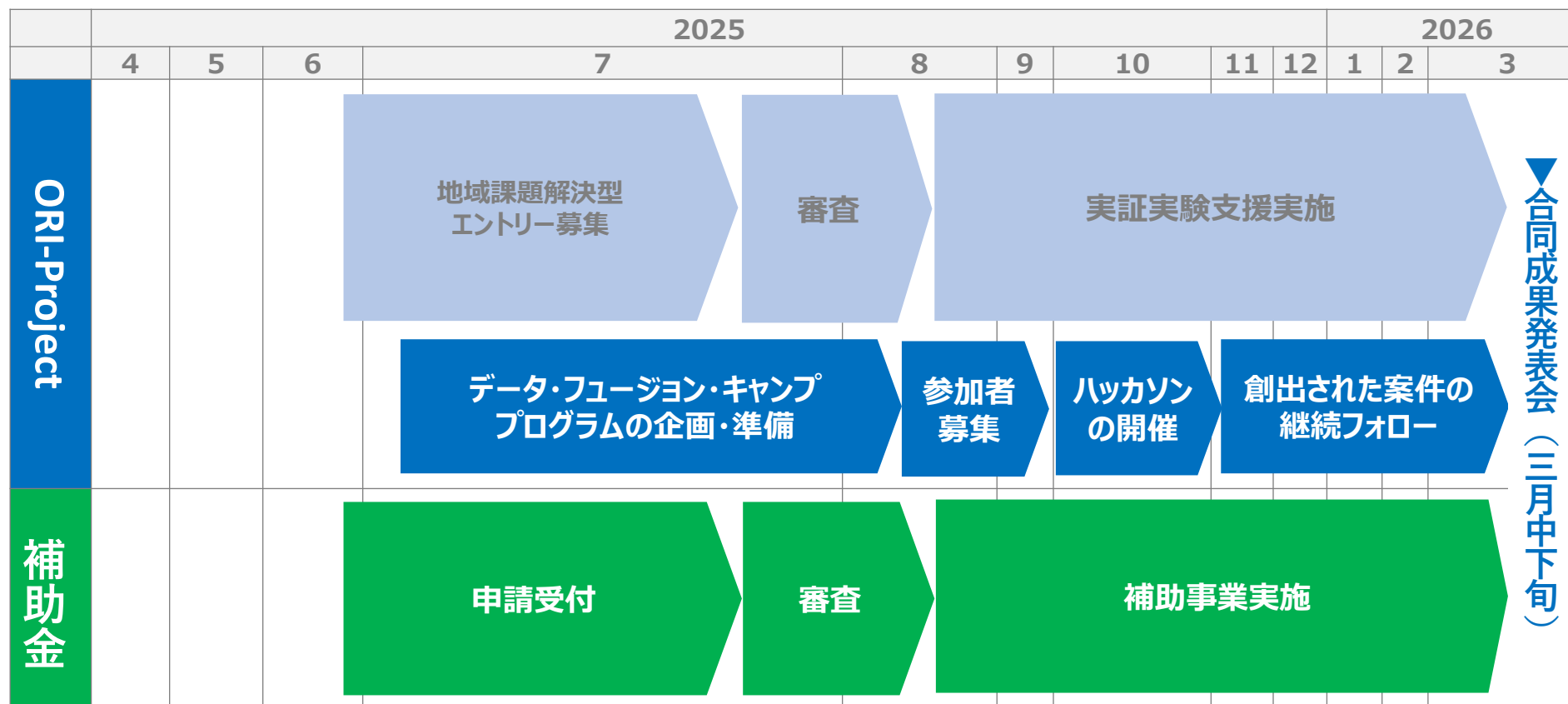
目 的

本市においてデータ連携基盤を活用したサービスの実装（調査や実証実験にとどまらず、継続的なサービス提供を開始すること）に向けて取り組む民間企業を支援し、データ連携基盤を有効活用した先端サービスの実装により本市の課題解決や市民の生活の質の向上を図るとともに、本市発の新たなイノベーションの創出を目指す。

事業概要

- データ連携基盤を活用したサービスを本市において早期に実装することを目指して取組を行う事業者に対し、その取組に必要な資機材のリース費用、取組の協力者への謝金、国内の交通費等を補助する「浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金」を創設し、運用する。
- 補助金額は、補助上限額150万円/件（採択年度中にデータ連携基盤とのデータ連携を行う案件の場合250万円/件）、補助率1/2以内
※昨年度からの変更点：要件の緩和（年度内のデータ開発）、補助率・補助上限の変更

- Hamamatsu ORI-Project（地域課題解決型）と浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金については、7/1（火）～7/25（金）の期間、案件公募を実施
- 地域課題解決型の支援対象企業には、データ・フュージョン・キャンプへの参加を促す
- 令和8年3月中下旬に合同成果発表会を開催予定



デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

デジタル・スマートシティ構想について

交流の場の充実

課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実

若者の巻き込み

（高校、大学との連携（浜松聖星高校、静岡大学アイデアソン・データソン）、講師派遣制度、出前講座）

Well-Beingの向上

令和7年度の各種取組スケジュール

浜松聖星高校との連携 ※道路損傷通報システム「いっちゃお！」の取組

■ 目的

- デジタルを活用したまちづくりにおいては、デジタルネイティブ（※）であり、今後の地域の担い手となる若者の巻き込みが重要である。 ※デジタルネイティブ…子供の頃からICTに親しんでいる世代を意味する
- 令和6年度に続き、浜松聖星高校の生徒に道路損傷の通報を経験してもらい、浜松市の安全なまちづくりに貢献し、浜松市のまちづくりや地域課題について「自分事」として考えてもらう機会とする。

■ 実施体制

浜松聖星高校、浜松市（道路保全課、デジタル・スマートシティ推進課）

■ 令和7年度の実施スケジュール

R7.6.16（月） 浜松聖星高校生徒へ動画配信・取組の説明

R7.6.16（月）～R7.7.16（水） 実施期間（道路損傷等の通報）

■ 実施内容・方法

聖星高校の全生徒（約600名）が発見した道路損傷等について、浜松市公式LINE「しゃんべえ情報局」の「通報サービス いっちゃお！」により本市の土木部門に通報する。

教育・研究機関と連携し、若者を巻き込んだまちづくりを推進

開催概要

- 日 時** ①6月7日（土）アイデアソン（※）、②6月21日（土）データソン（※）
- 場 所** 静岡大学浜松キャンパス、浜松復興記念館
- テーマ** “防災×データ可視化” オープンデータで地域防災力を強化しよう
- 参加者** 静岡大学の学生、浜松聖星高校の生徒など
- 講 師** 一般社団法人シビックテックラボ 代表理事 市川博之 氏
- 座 組** 主催：静岡大学情報学部、共催：静岡県、浜松市

（※）「アイデア」「データ」と「マラソン」をかけ合わせた造語。決められたテーマに則って、ひたすらアイデア出しやデータ作成を行うことで、これまでに無かった新しいアイデアやサービスを生み出す取り組み。



※令和7年度6月30日時点

2025年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
派遣先募集											
					開催						
講師募集（随時）											

講座一覧 (令和7年6月30日時点) ※団体名50音順

No	講座名	講師団体
1	デジタル技術の変革による生活の変化を知ろう (Society4.0から5.0へ)	遠鉄システムサービス株式会社
2	スマート林業の現状と今後の展望	静岡県農林技術研究所森林・林業研究センター
3	ミライの社会を覗いてみよう！	ソフトバンク株式会社
4	ドローンと私たちの社会生活について	株式会社トラジェクトリー
5	スポーツ×ICTのご紹介	西日本電信電話株式会社 (NTT 西日本)
6	子育ての課題をデジタルで解決する	認定NPO 法人 はままつ子育てネットワークぴっぴ
7	浜松市のスマート農業	浜松スマート農業推進協議会
8	地理情報 (GIS)	株式会社フジヤマ
9	産業分野におけるイノベーション創出とDX	リンクウィズ株式会社
10	視覚障害とICT	特定非営利活動法人 六星 ウイズかじまち

浜松市出前講座（市職員が市民等の依頼に応じ、市の仕事や制度について説明する取組）を通じ、本市のデジタルを活用したまちづくりの取組や地域幸福度（Well-Being）指標から見た浜松市の特徴について説明

テーマ

- ①デジタルを活用したまちづくり
 - ②地域幸福度（Well-Being）指標から見た浜松市の特徴
- ※②については、令和7年度から新規追加

実績

◆令和7年度第1回実施

日 時 令和7年5月30日（金）15:15～16:15

テーマ デジタルを活用したまちづくり

対 象 浜松聖星高校2年生 11人



5/30（金）浜松聖星高での出前講座の様子

◆令和7年度第2回実施

日 時 令和7年6月27日（金）13:30～14:20

テーマ 地域幸福度（Well-Being）指標から見た
浜松市の特徴

対 象 浜松市立湖東中学校3年生 192人



6/27（金）湖東中での出前講座の様子

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組



デジタル・スマートシティ構想について
交流の場の充実
課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実
若者の巻き込み
Well-Beingの向上（アワード、OASIS）
令和7年度の各種取組スケジュール

浜松市のWell-Being向上に資する企業・団体のサービスや取組を表彰

目的

企業や団体のWell-Beingに関する取組を表彰し、もって企業や団体の取組を促進することで、浜松市民の幸福感向上を図る

表彰の種類

はままつWell-Beingインパクト賞

浜松市民の幸福感がどの程度向上するか、地域幸福度(Well-Being)指標や企業・団体独自の指標（アンケート等）を用いて測定されており、地域（浜松市）の幸福感向上への波及効果が認められる取組やサービスのうち優れたもの

はままつWell-Beingデザイン賞

浜松市民の幸福感向上に良い影響をもたらすことが期待される取組やサービスのうち優れたもの

事業 スケジュール

募集期間	8月～9月頃
選考	10月～11頃
表彰式	12月頃



はままつWell-Beingアワード2024表彰式の様子

本市のWell-Being向上に資するアイデアを市内の学生から募集

概要

- Well-Being 指標を若年層にとって親しみやすいものにし、住んでいる地域の将来について「自分ごと」として考えるきっかけにしてもらう趣旨で開催。
- スタートアップ推進課の実証実験サポート事業を活用し、(株)LODUとの連携の形で実施。
※座組 主催：(株)LODU、協力：浜松市
- エントリー検討中の学生向けに、**コレクティブ・インパクトゲーム**（Well-Being指標を活用したまちづくり体験ゲーム）**を活用したワークショップ**を行い、エントリーを後押し。

対象

浜松市と関わりのある中学生、高校生、大学生、大学院生、専門学校生
 「中学生・高校生の部」と「大学生以上の部」に分けて募集

募集内容

実現したい**2045年の浜松市の姿のキャッチコピー**
 及び その**実現に向けた取組のアイデア**

事業
スケジュール

募集期間 7月～9月頃
 選考 10月頃
 表彰式 11月頃



市民の幸福感や生活満足度を高めるための政策立案手法等を学ぶ

概要

目的 ウェルビーイングの概念や指標の測定方法の理解し、ロジックツリー等を使って市民の幸福感や生活満足度を高めるための政策をデザインできる人材の育成

内容 全6回のプログラム、プログラム実施後の市長への発表を実施予定

講師 (一社) スマートシティ・インスティテュート代表理事、浜松市710- 南雲岳彦 氏

受講者 計12所属

「幸福が実感できる豊かなくらしの実現」をテーマに対象所属を決定

危機管理課、中山間地域振興課、環境政策課、環境保全課、一般廃棄物対策課、都市計画課、土地政策課、緑政課、公園課、道路企画課、道路保全課、河川課



6月19日第1回OASISの様子

デジタル・スマートシティに関する今年度の取組

デジタル・スマートシティ構想について
交流の場の充実
課題解決に向けたアイデアとソリューションの充実
若者の巻き込み
Well-Beingの向上（アワード、OASIS）
令和7年度の各種取組スケジュール

項目		2025年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
デジタル・スマートシティ	官民連携PF 運営委員会 会員との連携				●第1回運営委員会				●第2回運営委員会			第3回運営委員会●	
		学校への会員派遣制度											
	官民連携PF ピッチ・フォーラム						●ソリューションピッチ			●ソリューションピッチ			
							●フォーラム						
	データ連携基盤 運用機能追加	浜松市データ連携基盤の運用・機能追加											
	データ連携基盤の 活用促進				公募	審査	参加募集	データ連携基盤を活用したサービス開発支援プログラム					▲成果 発表会
					公募	審査	地域課題に対するデータ連携基盤を活用したソリューションのの検証支援						
					公募	審査	データ連携基盤活用サービス等実装支援補助事業の実施期間						
	Well-Being アワード						募集	選考	●結果発表・表彰式				
地域共助型 デジタル技術 活用支援事業	龍山地域：R6に育成した相談人材を活用した相談会（3回）の開催+相談人材のOJT												
庁内連携 （推進本部会議）		★第1回本部会議										★第2回本部会議	
OASIS （Well-Beingに基づく 政策デザイン研修）			★第1回講義	★第2回講義	★第3回講義	★第4回講義		★第5回講義		★成果報告会			
ハママツ データ ガーデン	データ更新等メンテナンス・コンテンツ拡充等												

各委員からの取組発表・意見交換



各委員からの取組発表

産業・経済分野 伊達委員

浜松商工会議所 会員向けDX化に関する取り組み

25年度方向性

企業のDX推進に貢献できる有益な情報を発信

1

地域内外の企業 取組事例の発信

- DX推進・IT活用に役立つ事例を発掘
- DX経営塾発の企業の取組を共有



バックオフィス業務のデジタル化で
新規事業推進の余地を生み出す

コロナ禍を転機にDXで経営課題の解決に踏み出す

クラウドレジ×AI予測で実現する
飲食業の「データドリブン経営」



2

ベンダー企業との連携強化

- セミナーと展示会を組み合わせたソリューションの紹介

3

業務効率化ノウハウの共有

- 会員企業のA I 利活用の実態を把握し、活用事例を共有
- 所内のデジタル化・A I 活用の推進

企業向けのDX推進を継続させ、所内向けのDX推進にも取り組む

TEAM-HAMAMATSU

DX 経営塾

☑ DX ≠ デジタルツールの導入

☑ DXを手段に経営全体を徹底的に見つめ直す！

日時・テーマ一覧

1講	2025.9.8	(月)	これからのDXとは ※講座終了後、懇親会あり
2講	2025.9.16	(火)	AIと共存していく私達
3講	2025.10.7	(火)	クラウドサービス選定
4講	2025.10.21	(火)	ノーコード/ローコード
5講	2025.11.13	(木)	AI時代のセキュリティ
6講	2025.11.27	(木)	TOCワークショップ
7講	2025.12.9	(火)	組織再構築
8講	2025.12.18	(木)	データドリブン経営
9講	2026.1.13	(火)	DX経営計画発表会①
10講	2026.1.29	(木)	DX経営計画発表会② ※講座終了後、懇親会あり

※時間はいずれも14:00～17:00

※補講3回は2月以降開催(後日、参加者にご連絡します)

統括講師

モノデジタル株式会社 代表取締役 和田 正典 氏

和歌山市出身。大手事務機器・光学機器メーカーにて海外サプライヤーとの部材調達・契約締結業務などを行う。折衝業務を中心に香港での駐在経験などを経て帰国し、大手半導体メーカーで勤務しながらMBAを取得。2014年に地元和歌山の建設会社にUターン。同社の情報システム部門を1から立ち上げ、2021年「全国中小企業クラウド実践賞」で総務大臣賞を受賞。その後、モノデジタル株式会社を設立し、全国の中小企業を対象にDX推進支援やDX関連の講演・セミナー講師として全国の支援機関や金融機関等で登壇し、2023年「全国クラウド実践大賞 支援部門」でエバンジェリスト賞を受賞。



ゲスト講師

第6講

株式会社cubio
代表取締役
今野 愛菜 氏



第7講

ウォーターデジタル
合同会社
代表 原田 篤史 氏



第8講

株式会社ティーエス
DX推進課 課長
原田 満 氏 (DX経営塾2期生)



- ・昨年度は、卒業生が講師のサポート役を務めた他、卒業生が学びなおしの一部講義に参加、取り組み状況の事例共有を行った
- ・4期目となる今年度は、2期生が講師となりデータドリブン経営の事例発表を行う



セミナー & 展示会

知らなきゃ損な

それ、補助金でできるかも？

IT 業務改革！

全画面表示を終了するに
キーを押す

～業務効率化・デジタル化～

中小企業・小規模事業者にとって避けては通れないこれらの課題…この解決には「IT導入補助金」の活用が有効です。しかし「申請が難しそう」「自社に合うITツールがわからない」と感じる方も多いのではないのでしょうか？

そこで今回、IT導入補助金の制度内容やAI活用事例を解説のほか、ITツールを実際に体験できる場を提供します。

2025. 8.29 (金) 10:30～16:30

会場：浜松商工会議所 7階 労政会館

※立体駐車場西側の労政会館駐車場(砂利)をご利用ください

対象：中小・小規模事業者 / 会員・非会員問わず

第1部セミナー

🕒 13:30～14:30

ゼロからわかる！ はじめてのIT導入補助金活用セミナー

定員：50人(申込先着順)

☑ ITツールを導入したい方向け

リコージャパン(株)
静岡支社 事業戦略部 価値提供推進グループ

平川 滋巳 氏



IT導入補助金の概要・採択率・申請の流れ・ITツールやベンダーの検索方法を解説します。

※展示の全ITツールが本補助金の対象ではありません。また、内容によっては今年度の公募にて申請できない可能性もありますので、ご了承ください。

第2部セミナー

🕒 15:00～16:00

対話型AIエージェントの作成を体験！ 業務で使える生成AI基礎講座

定員：50人(申込先着順)

☑ 知らない・使ったことがない方も大歓迎

(株)ギブリー
オペレーションDX事業部

谷口 駿英 氏



業務に適した対話型AIエージェントの作成・活用方法を、デモンストレーションを交えてご紹介いたします。

AI導入支援の現場で得られた知見をもとに、実務に役立つヒントをお届けします。

- ・ 小規模事業者中心に業務改革する時間の創出が課題であり人手不足の中、デジタル化は現実的な選択肢
- ・ 事業者からのニーズの高い分野を中心に ITソリューションを紹介する

2025. 8.29 (金) 10:30～16:30 入退場自由

“見て 聞いて 触れて”
体験！

IT ツール 展示会

● 展示製品 Line-Up

計 21 社
出展参加



製品の詳細情報はこちら



バックオフィス

基幹業務(会計・人事・販売など)を一元管理！

そのままDX
スマート大臣

楽楽精算
楽楽明細

Xronos
PERFORMANCE

奉行クラウド
奉行クラウドEdge

セキュリティ

情報漏えいの防止・リスク管理の土台！

DDH
BOX

Synology

HENNGE ONE

製造・建設

製造業・建設業など 現場管理 を効率化！

ALTA
Revolution

Marian Smart

建設現場システム
どっと原価

XC-Gate

SAVIOUR NEXT

その他

コミュニケーション・AI・HP・ストレージ・ノーコード・PC

MAKA
AI Chat

LINE WORKS

kintone

box

Tokkyo.Ai

LIFEBOOK U9414/R おりこうブログDX RICOH フルマネージドサービス for M365

各委員からの取組発表



金融分野 中村委員

各委員からの取組発表



金融分野 田村委員

令和7年度第1回浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム運営委員会 資料

起業支援・新事業開発支援の取組み

2025/07/17

浜松いわた信用金庫



Co-startup Space & Community 「FUSE」

- ザザシティ浜松中央館 地下1階の会員向けシェアスペース。
- 起業家や経営者、新規事業開発チーム、第二創業者など、事業を立ち上げようとするすべての人のために、FUSEは生まれました。
コトを起こすすべての人が、試行錯誤を繰り返しながらカタチにしていくために必要な設備、環境、そしてコミュニティ。
それらのすべてが揃い融合する「場」、それがFUSEです。



会員の状況

区分	2023.03.31	2024.03.31	2025.03.31
一般会員	145	165	206
法人会員	23	29	34
学生会員	17	18	8
大学等	25	25	28
合計	210	237	276

2024年度 活動実績

- 各種セミナー等の開催 79件・2,350人
- 相談対応件数 748件
- 視察受入れ 121先



2024年度 活動実績

- ・スタートアップ投資

- ・やらまいかファンド

2024/6 投資終了

総投資額 29先・12億5百万円

- ・やらまいか 2号ファンド

2024/10 組成 総枠 5億円

2025/6末現在の投資額 5先・1億7千万円

2024年度 活動実績

- 主なイベント等
 - アクセラレーションプログラム「FUSE-ON CHALLENGE」：応募35組
 - はままつスタートアップ創業スクール：受講者28名
 - FUSE BUSINESS LEARNING 2024
 - FUSE×光産業創成大学院大学主催フォーラム 他
- 浜松市との協業
 - 学生アントレプレナーシップ人材育成事業 (Doer Tribe Hamamatsu)
 - 地域スタートアップアクセラレーションプログラム

おかげさまで5周年を迎えました

- 地域イノベーションを一層促進する拠点とすべく改装工事を実施
- 2025/7/18 5周年記念イベントを開催
- 地方創生に向けた取組みの本気度をますます高めています



デジタル・スマートシティの実現に向けて

- ・イノベーションを促進する環境 スタートアップ・エコシステム
- ・事業開発と実証の場を提供し、地域課題の解決プロジェクトを推進
- ・新しいアイデアや技術の社会実装を目指す
- ・ネットワーク構築、官民連携の促進でスマートシティの実現へ

各委員からの取組発表



金融分野 藤田委員

AI窓口に向けた取組み



① ライフサポートプラザに設置



② お客様が来訪した際にAIが音声で受付

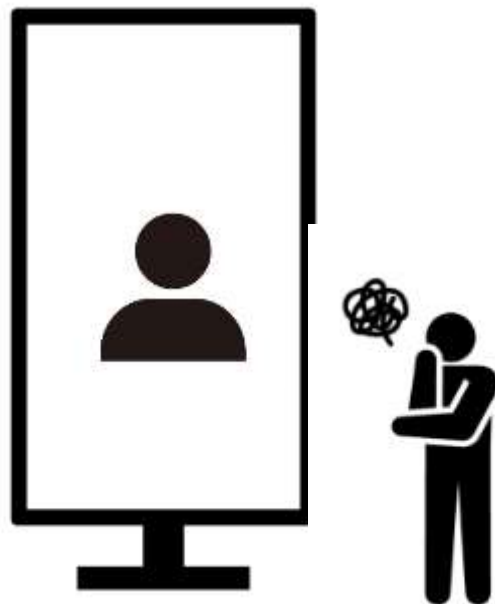


③ ZOOMで繋いでお客様と職員が接客

AI窓口に向けた取組み

サイネージによる運用

- 画面に比例し、音量が大きいため、話しかけることに抵抗のある顧客が大半。
- 設置位置が難しい。対話が筒抜けになる。



リニューアル後イメージ

- 顧客側で選択できる方式へシステム変更。
 - ①画面タッチ方式での対応
 - ②音声対話型での対応
 →職員のサポート役として、職員も切替操作可。
- モニター画面も持ち運び可能サイズへ変更。
 - 相談スペース・個室で稼働できるようにする。



- 録画機能を追加を検討
 - 上司・先輩によるアドバイス・商品販売に関する検証が期待できる。

AI窓口に向けた取組み

フリー型アバターの HP活用

▶▶▶ QRやHPからアクセス

▶▶▶ アバター説明

▶▶▶ ネット申込



※パンフレット等より読込

● QRから金庫HPにアクセス



相談業務 24時間対応



今後はビジネスモデルのデータを蓄積してアバターの活用範囲を拡大

各委員からの取組発表

大学分野 金原委員



『静岡大学未来創成ビジョン』の目的と9つの目標 — Purpose & 9 Goals

別紙1



G4 スマートコミュニティの実現

AI・ビッグデータ・IoTを活用した技術と人材育成により、地域課題を解決するスマートコミュニティ型社会システムを実現

スマートシステムの研究開発

- ・IoTやAIを活用した都市インフラの高度な維持管理技術の開発
- ・エネルギー利用の最適化と再生可能エネルギーの導入拡大
- ・スマートデバイスやネットワークを活用した地域実装型技術の創出



地域課題解決への総合的な貢献と学内外連携の展開へ

- ・インフラ維持の効率化支援
- ・地域産業のスマート化
- ・災害対応技術や住民行動変容支援
- ・スマート社会を牽引する人材の持続的な育成体制の構築



情報学部・
工学部・
サステナビリティセンター

スマート社会を担う人材育成

- ・IoT・AI・データサイエンス・まちづくりなどを横断的に学べる教育
- ・地域課題を起点としたPBL（課題解決型学習）の進展
- ・スマートキャンパスを実践の場とした実装型教育の展開



- ・自治体・企業との産官学連携
- ・複数キャンパス（浜松・静岡）間の分野融合型研究の推進
- ・サステナビリティセンターを基軸とした横断的・総合的プロジェクトの実装

G4 スマートコミュニティの実現に向けて

AI・ビッグデータ・IoTを活用した技術と人材育成により、地域課題を解決するスマートコミュニティ型社会システムを実現

スマートコミュニティを担う人材育成

- ・ データサイエンス、AI、IoT、都市計画など、スマートコミュニティ関連分野の学部・大学院プログラムを拡充し、地域産業のスマート化、スマートコミュニティを牽引する人材を輩出

スマートコミュニティ関連研究の推進と社会実装

- ・ 地域課題解決に資する革新的なスマートコミュニティ関連技術、サービスを開発し、研究成果の社会実装を加速するための、産学官連携プラットフォームを構築

スマートキャンパスを基盤とした地域貢献

- ・ 大学をスマートコミュニティの実践の場とし、大学の持つ資源を最大限に利活用することで地域社会との連携を強化しつつ、地域課題解決、地域活性化に貢献

地域産業のスマート化推進

- ・ 地域産業の競争力強化、新たな雇用創出、地域経済を活性化させるだけでなく、多様なステークホルダーとの協働によるスマートコミュニティ型システムを実現

各委員からの取組発表



大学分野 中村委員

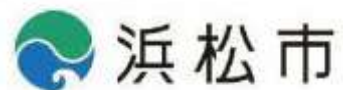
各委員からの取組発表

健康・医療・福祉分野 池野委員



浜松ウェルネスプロジェクト

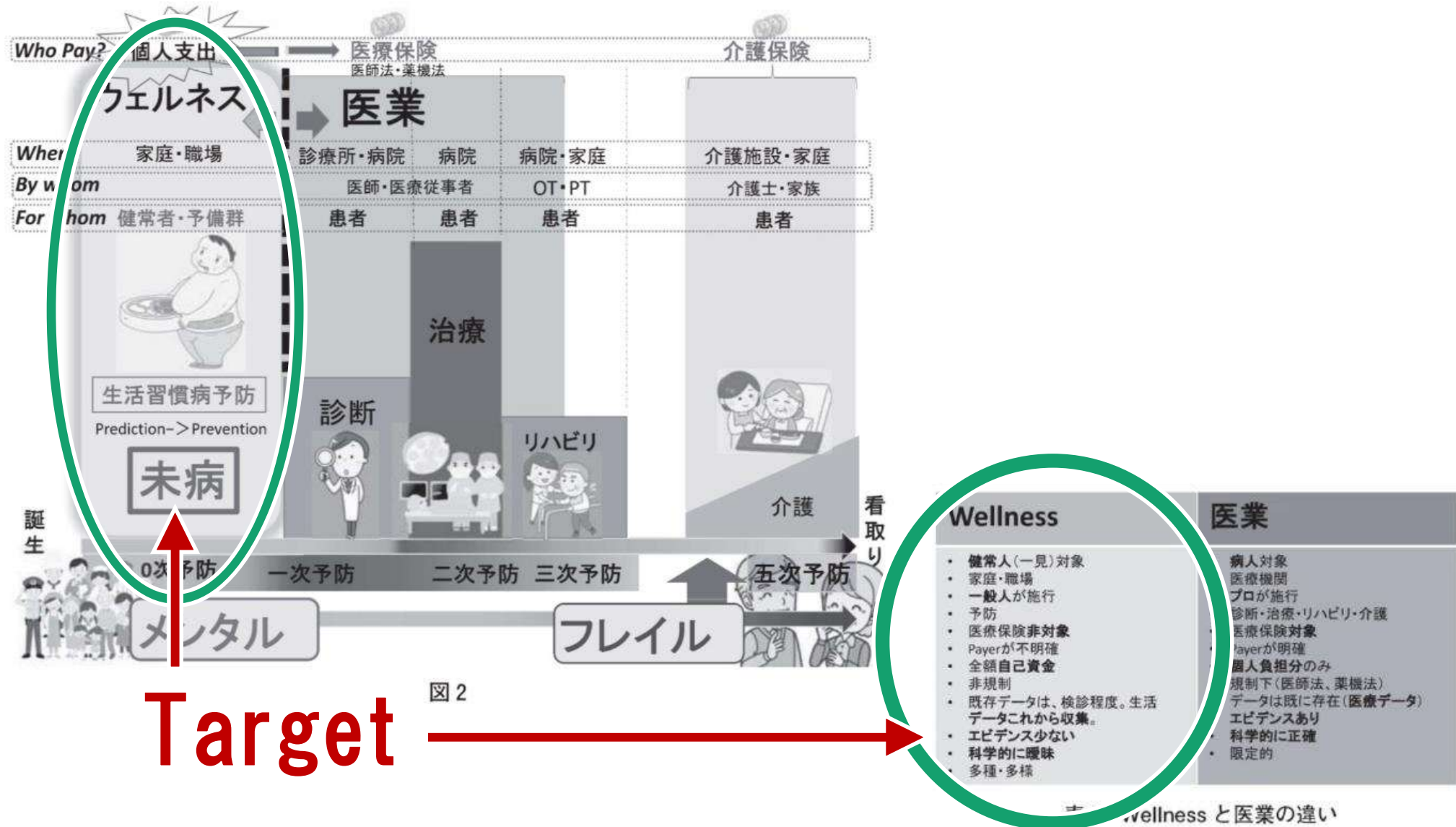
- 「Wellness City／予防・健幸都市」の実現に向けて-



2025.06.11

「健康づくり」・「疾病・介護予防」の充実

安定した社会保障制度の維持

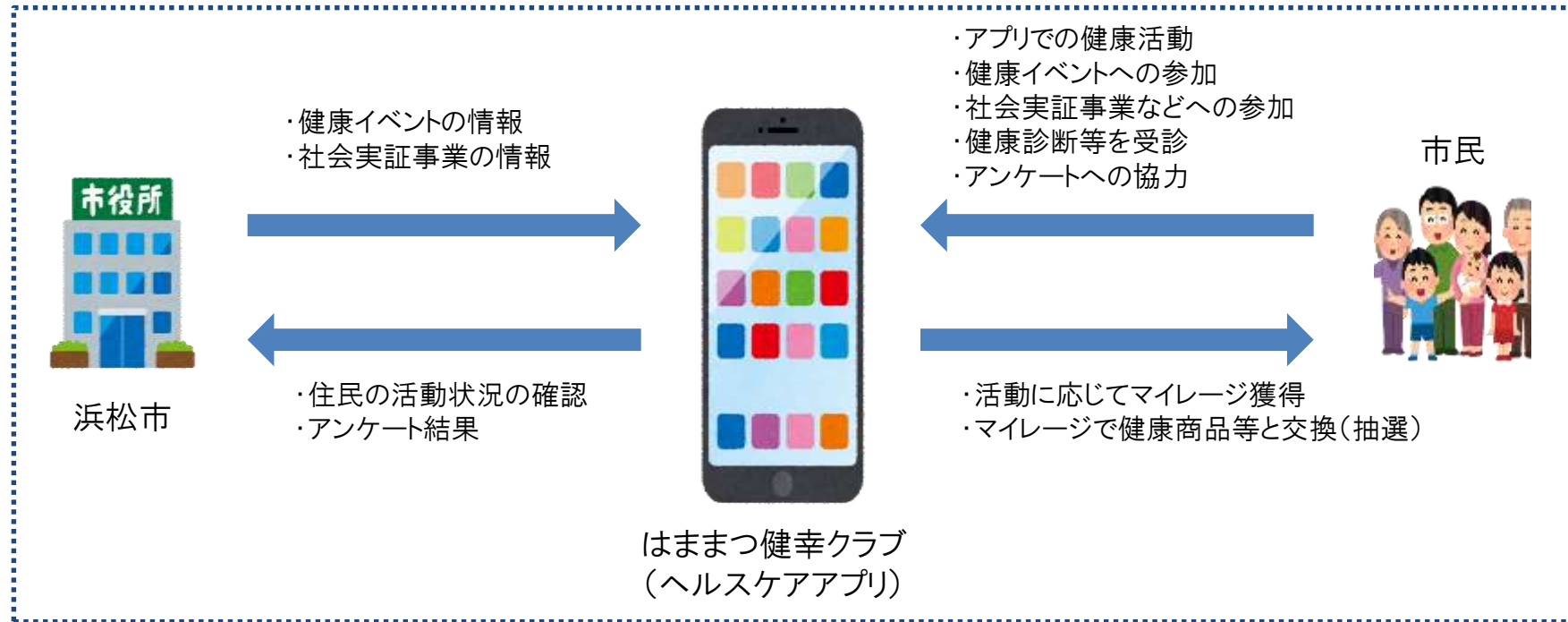


浜松ウエルネス推進協議会

あいおいニッセイ同和損害保険(株) (株)愛管 (株)アオイ楽器店 アクサ生命保険(株) (株)Activle アストラゼネカ(株) ATHLEAX GYM(株) アトランス アフラック生命保険(株)浜松支社 (株)ALY アルフレッサ(株) 杏-an-鍼灸室 イオンモール(株) イオンリテール(株)イオン浜松志都呂店 イオンリテール株式会社中部カンパニー 医療法人社団一穂会 (株)ウエルネスパートナー NPO法人ウエルネスサポート エーザイ(株) (株)エクサウィザーズ (同)エスエスエス (株)N.G.M エネジン(株) (株)エフ・シー・シー FSPEEECH MSD(株)浜松サテライトオフィス エンシュウ健康保険組合 遠州梱包運輸(株) 遠州鉄道(株) 遠州鉄道健康保険組合 遠鉄アシスト(株) (可美公園総合センター・新橋体育センター) 遠鉄観光開発(株) (株)遠鉄ストア (株)遠鉄百貨店 OMソーラー(株) 大塚製薬(株)ニュートラシューティカルズ事業部名古屋支店浜松出張所 お一川・桜の水辺の会 Oak Voice (株)オークラアクトシティホテル浜松 (株)カーブスジャパン (株)金指商会 かみのけやさん訪問美容 神谷理研(株) 河合楽器健康保険組合 (株)巖邑堂 (株)杏林堂薬局 協和キリン(株)浜松営業所 共和レザー(株) キリンビバレッジ(株) きんまくサロンONE STEP (株)呉竹荘 K-LINK s コア・ライフプランニング(株) NPO法人耕 興和(株) (一社)ここみ (株)ココロミル (株)小松工業 サーラエナジー(株)浜松支社 (株)サイチ 坂井不動産鑑定士・土地家屋調査士事務所 坂井モーター(株) サゴーエンタプライズ(株) 佐鳴湖ノルディックウォーク健歩会 (株)Sun Roots 静岡新聞社・静岡放送浜松総局 (株)静岡第一興商 静岡県立森林公園「森林サービス産業」地域協議会 (医)明徳会十全オアシスクリニックメディカルフィットネス&スパNiceBeaT浜松 (医)明徳会十全記念病院 (学)十全青翔学園静岡医療科学専門大学校 (一社)食とコミュニケーション研究所 (株)シルバコンパス (株)新明 スクロール健康保険組合 すながわ労務サポート スズキ(株) (株)鈴木楽器製作所 鈴木楽器販売(株)浜松営業所 スズキ健康保険組合 (株)スモールポンド (同)スリーウィン (株)誠風庵・大山一誠アトリエ 生活協同組合ユーコープ小豆餅店 生活協同組合ユーコープ佐久間店 生活協同組合ユーコープさんじの店 生活協同組合ユーコープ富塚店 (株)創生 ソフトプレン工業(株) (株)ソフトウェアプロダクツ SOMPOひまわり生命保険(株) 第一生命保険(株)浜松支社 (株)タカラ・エムシーマム肉市場テクノ店 高部鍼灸院 NPO法人地域創生支援事業団 中外製薬(株)浜松オフィス (株)中日ショッパー 中日新聞東海本社 中部電力(株) (株)ティップネス テレリハ(株) 社会福祉法人天竜厚生会 天竜浜名湖鉄道(株) (株)東海トラベル 東京海上日動火災保険(株) Total body care salon TAKAN (株)Total Life Design浜松支店 凸版印刷(株)中部事業部浜松営業所 (株)TOMORUN 鳥居食品(株) 中北薬品(株) 永田木材(株) 西静岡ヤクルト販売(株) 日本環境マネジメント(株) 日本生命保険(相) 日本ベーリンガーインゲルハイム(株)浜松営業所 認定栄養ケア・ステーションちょぼ NPO法人認知症予防研究室 (有)ぬくもり工房 (株)脳リハビリネットワーク 野村不動産ライフ&スポーツ(株)メガロス浜松市野 パイフォトニクス(株) 橋本螺子(株) 羽立工業(株) 働くみんなの保健室 (医)はつおい歯科室 (株)PanAcea はまきた施術院小池店 浜松エフエム放送(株)(株)浜松グランドボウル 認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ (公財)浜松市花みどり振興財団 浜松綜合法律事務所 (公財)浜松地域イノベーション推進機構 (株)浜松人間科学研究所 浜松パワーフード学会 (一財)浜松光医学財団 (医)浜松南病院 B-up yoga education (一財)東日本小型自動車競走会 ファンピッキング(株) (株)フィグメント (同)FoodOfficeハチドリ ForeverGrace (株)フォーリア 富国生命保険(相)浜松支社 (株)フジEAPセンター 藤井社会保険労務士事務所 プライベート相談室cocoro sapo (一社)Platoo (株)PREVENT (株)BLUE LAKE Project (一社)ブレス浜松 (株)ベイシアフードセンター浜松都田テクノ店 (株)ベイシアフードセンター浜松雄踏店 HEALTH FIRST(株) ヘルツ電子(株) 訪問アロマ〜木漏れ陽〜 (株)北伸ホテルクラウンパレス浜松 ホトニクス・グループ健康保険組合 (同)PORTO 毎日企業(株) (株)マジックシールズ まちの看護相談室り〜ぶ(Live) マックスバリュ東海(株) (一社)みんなの認知症情報学会 (株)ミズタニ 三井住友海上あいおい生命保険(株) 三井住友海上火災保険(株) (有)むつみ製パン (株)村松商店 社会保険労務士法人村松事務所 明治安田生命保険(相)浜松支社 メディアミックス(株) (株)メディセオ メンタルウエルネスアナベル (株)MentalBase (株)モアソソジャパン 森本社会保険労務士事務所 (株)八神製作所浜松営業所 (株)ヤタロー (株)YAMADA ヤマハ健康保険組合 (株)山本エコロジーサービス ユービーサポート(株) Yui support(株) 雪印ビーンスターク(株) ゆずりはHAMAMATSU ユニー(株)プレ葉ウオーク浜北 ヨクト(株) (株)LightNow (株)LIFEAT. ライフサポートオフィス松下 LIFE STYLE (株)LiveDune LalaKaren (株)リィ リコージャパン(株)静岡支社 医療法人Respect 社会保険労務士事務所リッシュ (株)リバランス (株)Re・lation ROOM L.09 (株)ロイヤリティマーケティング ロート製薬(株) ローム浜松(株) ロボセンター技研(株)

浜松医科大学 静岡大学 聖隷クリストファー大
 学 常葉大学 聖隷福祉事業団 浜松市医療公社
 浜松市医師会 浜松政令市医師会 浜松市歯科医
 師会 浜松市薬剤師会 静岡銀行 浜松磐田信用
 金庫 遠州信用金庫 浜松商工会議所 浜松市社
 会福祉協議会 浜松市シルバー人材センター 全
 国健康保険協会静岡支部 はままつ次世代光・健
 康医療産業創出拠点

①はままつ健幸クラブ



目的

浜松ウェルネスプロジェクトへの市民の皆様の参加拡大、健康増進活動等の促進、健康無関心層の行動変容など

特徴

浜松ウェルネスプロジェクト事業や健康イベント等への参加により健康マイレージ(ポイント)を付与し、ポイント数により健康商品や地場産品が獲得できる特典

リリース

2022年10月

目標会員数

令和4年度末5,000人、令和5年度末15,000人、令和6年度末24,000人

(1)市民の健康増進(健康寿命の延伸)

①はままつ健幸クラブ

約21,000人が登録！(令和7年5月現在)

参加者募集中！ 浜松市

はままつ健幸クラブ

浜松市公式ヘルスケアアプリ

利用料 無料

アプリを使って健康づくりに取り組んで健康とポイントを手に入れよう!

ポイント貯めて応募すると毎月抽選で60名様に当たる!

アプリのダウンロードはこちら

iPhone版 Android版

お問い合わせ窓口

カラダライブコールセンター

0570-077-122

※利用料はかかりません。

はままつ健幸クラブ

日々の健康づくりの取り組みをアプリで見える化します!

目標達成で100P

出世大名家康くんからのメッセージ
あなたの日々の取り組みを励まし、応援!

グラフ
月間の歩数、距離、消費カロリーなどの変化を表示!

目標設定
歩数と体重を自分で目標設定!グラフで月間推移や目標達成度を確認!

生活習慣チェック
食事や睡眠など生活習慣に関する行動をチェック!

ランキング
全体、性別、グループ別、企業別のランキングを表示!

リアルウォーキング
市内の各所を巡る5つのコースを表示!
すべてのチェックポイントをクリアすると、ポイントを獲得!

記録機能
体重や血圧、健(検)診の記録をアプリで管理!

健康イベントへの参加
健康イベントや実証事業等の情報をいち早く配信!
参加すると高ポイント獲得!

コース達成で100P

健康イベントで300P

消費カロリーで5P/日

体重管理で5P/日

詳しい情報はHPへ <https://hamamatsu.karada.live/>

はままつ健幸クラブ

浜松ウエルネス・ラボ

浜松市の課題

- ★生活習慣病予防
- ★健康に関心の低い青壮年期への取組強化（検診受診率の向上）
- ★企業・団体と取り組む健康づくり（健康経営）
- ★介護予防（フレイル、認知症等）
- ★社会保障費（医療費等）の適正配分

民間企業の質の高いシステムやサービス等



市民・地域還元

社会実証成果

事業化

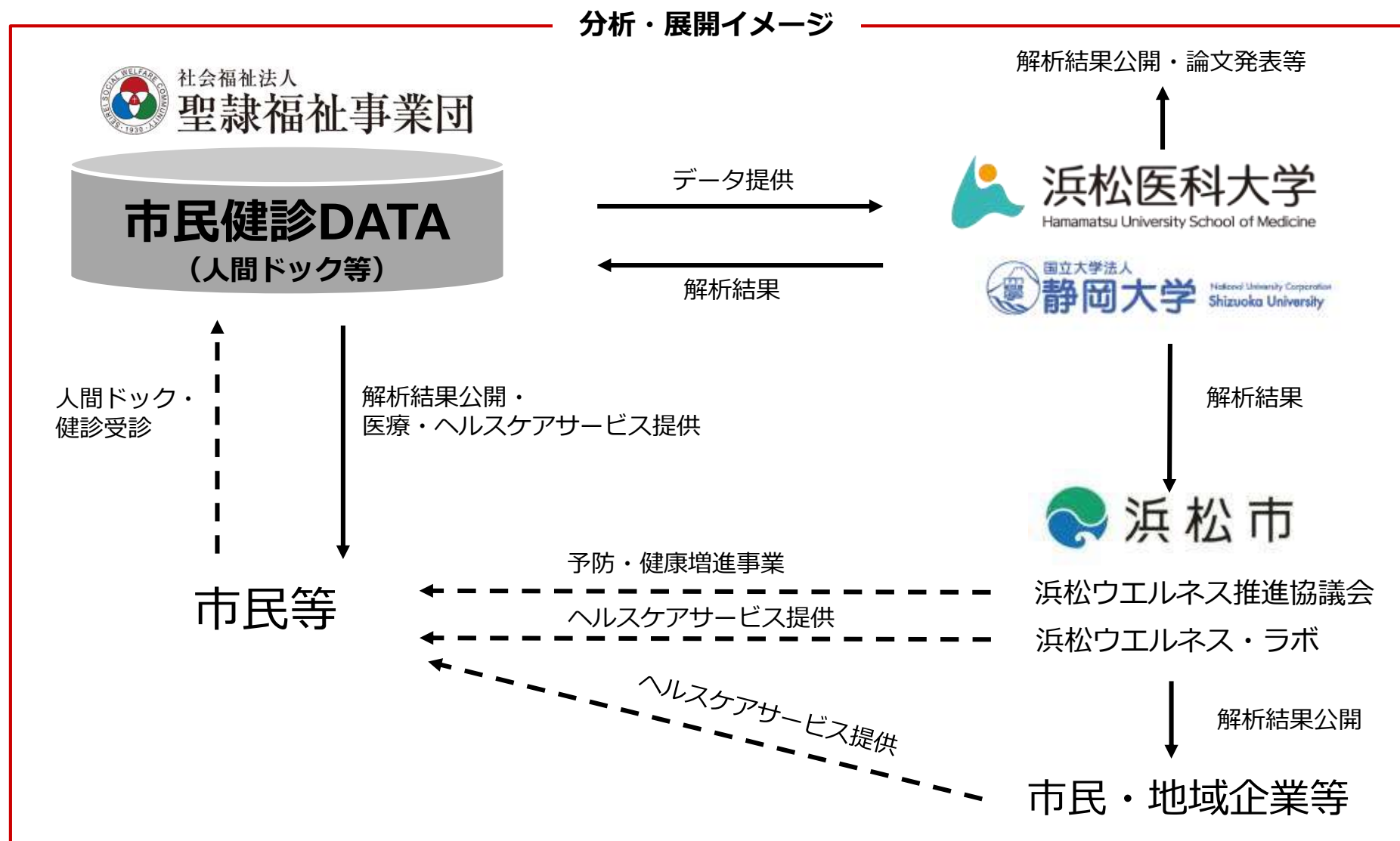
- ★効果の高い製品やシステム・サービス等を予防や健康事業等を通じて全市展開
- ★データやエビデンスを参考に予防や健康事業等を全市展開

- ★各種データ・エビデンスを取得・蓄積
- ★効果の高い製品やサービス等を事業化（全国展開）

官民双方がWin-Win

企業名 (50音順)	事業名
	聖隷MCIスタディ ～もの忘れが気になる方の認知機能に対するβラクトリンの効果検証研究～
	中高齢者対象の嗅覚機能と気分・ストレス状態に関する調査研究
	「笑い」が脳機能に及ぼす健康効果に関する研究
	“脳の健康習慣化”に向けた「キリン 脳ケアチャレンジ！」
	デジタル技術&ヒューマンタッチによる血糖コントロール
	生活習慣病保有者に対する生活習慣改善支援プログラムの効果検証並びに費用対効果に特化した成果報酬連動型モデルの開発
	高齢ドライバーにおける日常運転行動特性と認知機能の関係性：前向きコホート研究
	健幸度向上支援プログラム実証事業 ～第一弾 健幸度向上研修事業～

- 聖隷福祉事業団、浜松医科大学、静岡大学、浜松市が連携して、**聖隷福祉事業団が有する健診（人間ドック）ビッグデータを活用し、本市の健康寿命日本一の所以や本市（市民）が抱えている疾病リスクなど多角的かつ詳細に明らかにする。**
- 市や地域企業・関連団体等は、分析結果を「予防・健康都市」実現に向けた施策や各種ヘルスケアサービスの提供に活用する。



各委員からの取組発表

モビリティ分野 岡野委員

遠鉄グループ 運輸事業における デジタルの活用について

2025年7月
遠州鉄道株式会社

「クレジットカード タッチ決済」を導入

2025年2月に路線バス全車両、2025年3月に鉄道全駅に導入

遠州鉄道全路線にてタッチ決済が利用可能に

タッチ決済対応マーク があるかチェック



利用可能なカードブランド



乗るとき・降りるときにタッチ
Touch when getting on and off



リーダーのタッチ部 中心(黒色部分)に、ナイスパスまたはクレジットカードを、「1枚で」当ててください。

**カードは重ねず
1枚で タッチ!**

複数枚にカードなどを入れたお財布
やバスのままタッチはご注意!!

**1秒以上しっかりと
「音が鳴るまで」
しっかりタッチ!**

現時点の利用実績

鉄道: 1日あたり約**1,300**人 路線バス: 1日あたり約**2,800**人

鉄道、バスともに利用者のうち、**約 6 %**がタッチ決済を利用

「遠鉄タクシー スマホアプリ (Eタクプラス)」を導入

■「E-タクPlus」とは



遠鉄タクシーだけを呼べるタクシーアプリ

2024年9月に遠鉄バスの接近情報サービス「バスどこ!？」と連携

遠鉄グループの公共交通情報を一元管理できるアプリ

アプリダウンロード数



アプリ導入後の主な指標の推移

○お迎え時間

2023年5月:約13分 → 2025年5月:約11分

約2分短縮

○電話受付回数

2023年5月:約15万回 → 2025年5月:約10万回

約5万回削減

現時点のアプリ利用者・・・約57,000DL(タクシー利用の**約8%**がアプリ利用)

各委員からの取組発表



防災・安全分野 清水委員

■取組名称

公共安全モバイルシステム（PS-LTE）導入に向けて

■背景・目的

- ・ 現行の地域防災無線とは、市の避難所や拠点、関係機関などの行政間の無線設備であるが、導入後約10年が経過し、機器の枯渇等により更新が必要
- ・ 更新に併せ、新技術を踏まえた新たな通信網の構築を検討

■取組概要

【令和5年度】

「消防緊急デジタル無線システム及び多重無線施設等の再整備に係る基本構想策定業務」の実施

【令和6年度】

「地域防災無線 基本設計委託業務」を実施

■取組結果（方向性）

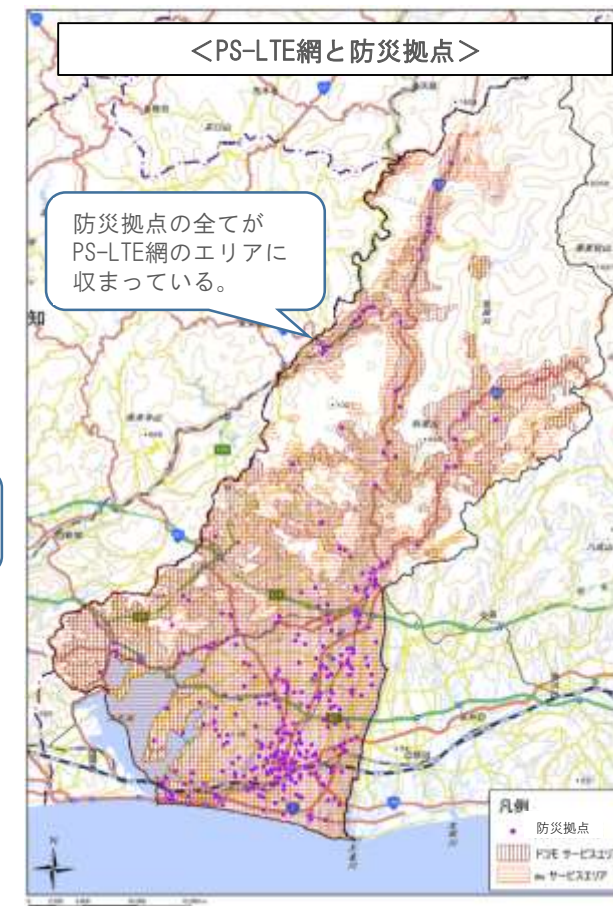
- 主通信方式：公共安全モバイルシステム（PS-LTE：Public Safety-LTE）
 - ・ 災害時に優先・安定通信を確保するため、複数のキャリア回線（au、docomo）を活用する地方公共団体、警察、消防、DMAT、指定公共機関向けの携帯通信網
 - ・ 現行の無線は音声が主な通信手段だが、PS-LTEでは、チャット、音声通信、写真送信、Web会議などスマートフォンと同様の機能が使用可能
- バックアップ回線：LPWA（衛星通信の技術やサービス展開の動向に注視が必要）

※LPWAとは、（Low Power Wide Areaの略）低消費電力で広範囲なエリアをカバーできる無線通信技術の総称であり、IoTデバイスの通信に適しており、電池駆動で長期間動作させることが可能なもの。

■今後に向けて

- ・ PS-LTEの令和8年導入に向けて、避難所等から避難者数や支援物資などの情報収集を行うアプリについて検討
- ・ バックアップについては、衛星を活用した新たなサービス（StarLink Business・Direct等）を踏まえ引き続き検討

■事業イメージ（図、イラスト等）



<緊急性>

- ・ 災害時優先電話機能が使用可能

<汎用性>

- ・ 市販のスマートフォンを使用可能

<冗長化>

- ・ 一契約で複数の携帯電話事業者（マルチキャリア）回線に接続可能

各委員からの取組発表



社会資本・インフラ分野 平井委員

■取組名称

河川点検アプリを活用した河川点検の効率化（河川課）

■背景・目的

- 市管理の二級河川及び準用河川は毎年（掘込区間は5年毎）、職員による河川点検を実施。
- 従来の点検作業は、現地で紙の河川図に場所、損傷状況等をメモし、帰庁後に点検帳票へ記録するため長時間を要する。
- 経年変化確認では前回記録箇所の速やかな現位置特定が課題。
- 点検作業は非出水期（11月～2月）に実施するが、発注工事等が完了する繁忙期と重なり、職員の負担が大きい。
- 河川点検アプリにより、作業効率化による負担軽減や記録の正確性向上を図る。

■取組概要

- R5：河川点検アプリの構築（業務委託）
- R6：河川点検アプリの試行運用

■今後に向けて

- R7河川点検より本格運用
- 事前防災等へのデータ活用の検討

■事業イメージ（図、イラスト等）

【現場（職員）】



データ登録

クラウドサービス（ArcGIS）

【点検帳票（受託者）】



点検帳票へデータ変換



■取組名称

AIを活用した道路損傷情報の収集（道路保全課）

■背景・目的

- 浜松市の道路管理延長は約8,500kmで政令指定都市の中で最長。
- 道路管理者によるパトロールや、浜松市公式ラインから道路損傷の通報ができる「浜松市道路損傷通報システムいっちゃお！」により道路損傷情報の収集に努めているが、全てを把握することは困難。

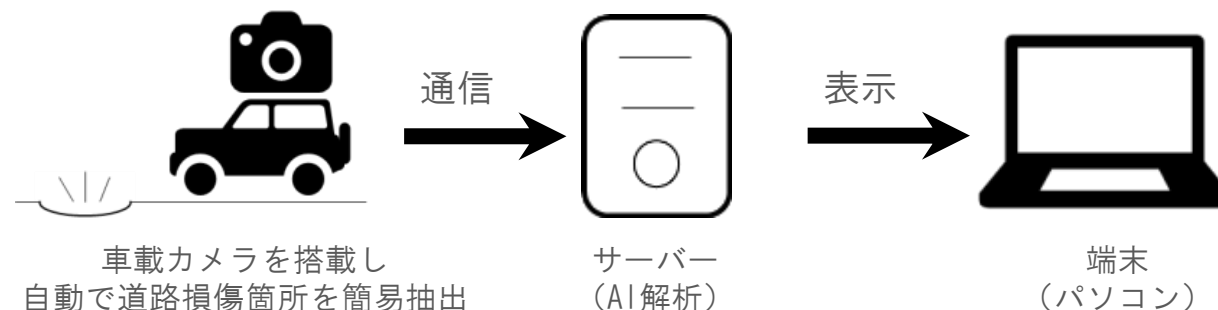
■取組概要

- 車載カメラを搭載した車両の走行により自動で撮影された画像から、AIが道路損傷箇所を検知するシステムの導入により、効率的に道路損傷情報（道路の穴ぼこ）を収集。
- 令和6年度は、パトロール車両7台に加え、旧中区の公用車3台に車載カメラを搭載した結果、パトロール実施延長316kmに加えて、191km区間において日常業務の付加価値として道路損傷情報を得た。（316km→507km 1.6倍に向上）

■今後に向けて

- 道路損傷情報の更なる収集を図ることを目的として、令和7年度より、車載カメラを搭載した公用車を10台に増やし全区で実施。
- 効率的な維持管理に向け「浜松市道路損傷通報システムいっちゃお！」からの市民通報の情報などと一元管理を検討。

■事業イメージ（図、イラスト等）



システムに位置情報と損傷写真が表示



■取組名称

ワンコイン浸水センサ（河川課）

■背景・目的

- 近年の降雨特性（総雨量増、豪雨化）により、浜松市においても浸水被害が発生。
- 浸水状況を早期に覚知し迅速な通行規制対応や防災情報として市民への情報提供を目的。

■取組概要

- 国土交通省のワンコイン浸水センサ実証実験に参加（R6年度）。
- 浸水被害頻発箇所の5箇所にセンサを設置。
- 通行規制の判断情報として活用。
- 国土交通省提供の浸水センサ表示システムを市民へ案内（現在2箇所表示）。

■今後に向けて

- 国土交通省浸水センサ表示システムでの表示箇所の追加。
- 浸水センサ増設の検討。
- 浸水センサと通行規制装置との連携を模索。
- 河川水位計などの既設観測機器との相関より浸水メカニズムを研究。

■事業イメージ（図、イラスト等）

【現地設置状況】



【遠隔モニタ】



（国土交通省浸水センサ表示システムでも閲覧可能）

■取組名称

AIを活用した交通事故危険箇所マップの公開（道路企画課）

■背景・目的

- 人身交通事故ワースト1脱出に向け、AI技術を用いて構築した事故危険度予測モデルにより抽出した危険予測箇所を、オープンデータとして公開するとともに、Web上で公開することで、「事故が見える化」し事故の予防や安全意識の向上を促す。

■取組概要

- AIによる事故危険度の算出
交通事故データや道路構造、沿道環境、気象条件など多様な要因を考慮し、道路区間ごと相対的な危険度を算出
- 危険予測箇所をWeb上で市民に公開
道路分類毎、事故危険度の数値が上位5%の区間を可視化し、Web上（GoogleMap）で、危険予測箇所可視化マップとして公開

■今後に向けて

- 最新の事故データや道路環境の変化を定期的に取り込み、AIモデルを更新・改善
- ユーザーの関心事（自転車事故、子供の事故など）に基づいてフィルタリング可能な、危険箇所マップの提供

■事業イメージ（図、イラスト等）

AIによる事故危険度の算出



事故危険度の高い箇所を可視化



Web上で市民に
情報を公開

各委員からの取組発表



教育・子育て分野（子育て） 原田委員

オープンデータを活用した 子育て情報ポータルサービス

2025年7月17日(木)

認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ



自己紹介

現職

認定NPO法人はままつ子育てネットワークぴっぴ 理事長
(子育て情報センター/防災学習センター指定管理者)
静岡大学創造科学技術大学院博士課程在学中

研究分野

経営、 NPO、子育て、情報、防災、キャリア

資格

キャリアコンサルタント (国家資格)



団体概要

団体設立

平成18年4月4日

理事及び社員数

理事10名（大学教授、弁護士、社労士、他NPO理事など）

会員約60名

子育てしやすいまちづくりを目指して

子育て世代の当事者目線に重点をおき、団体・企業・学校・行政等との連携を図り、子育てしやすい環境づくりを行っています。

事業内容

情報発信事業

浜松市子育て情報サイトぴっぴを核とした、子育て情報の発信・運用サポート

LINE

Instagram

Facebook

X (旧
Twitter)

SNS運用



子育て情報ポータルサイトぴっぴ



はままつ子育てガイド

事業内容

講座及び研修事業

子育て中の親、親子、子育て支援者、企業向け講座の企画・運営



浜松市子育て情報情報センター
父親と母親のための子育て教室



防災関連講座



両立支援講座

事業内容

調査・研究事業

子育て経験者たちの視点と情報集積・ネットワークを活かしたさまざまな調査・研究事業を行い、子育て世代がより暮らしやすくなる提案を行っています。

男女共同参画事業

ワーク・ライフ・バランス等、男女共同参画の視点でのコンサルティングと事業提案を行っています。

相談事業

子育てにおいて困っていることの相談先がわからない時、適切な相談先・相談窓口をナビゲーションします。



浜松市子育て情報サイトぴっぴ



2022.12.25 **更新情報**
子どもをのびのび育てるためのほめ方・叱り方シリーズ スタート！

2022.12.24 **トピックス**
クリスマスにおすすめのレシピを紹介しています。

2022.12.23 **更新情報**
令和5年1月分の認定こども園・認可保育園 一時預かり事業（一時保育）
利用空き状況を掲載しました。



子育て中の
知りたい
相談したい
つながりたい
 をナビゲート

子育て情報ポータルの特長

- 子育て関係の情報を一元化 各種サービスを統合
- ウェブサイトやアプリを活用して、健診予約、子育て相談、イベント情報、保育園の申し込みなどが1つのプラットフォームを核として、利用者が必要な情報にアクセスできるようになる
- スマートフォンへのプッシュ配信、SNSなど、子育て世代に特化したツールで最新情報を発信できる
- 子育てに関する情報を行政の縦割り組織を超えて横断的に整理することで、市民から問い合わせがあったときも、自治体職員が案内しやすく、総合的な支援が提供できる

自治体の「オープンデータ」積極活用

官民データ活用推進基本法（平成28年法律第103号）において、国及び地方公共団体はオープンデータに取り組むことが義務付けられました。

行政が保有する情報を「オープンデータ」として公開することで、民間サービスの利活用を促す

浜松市は、デジタル・スマートシティ構想の中で、オープンデータの公開と活用を積極的に推進



2022年春にDXでさらに進化!!!

ユーザー調査に基づいたニーズをもとに

デジタル技術で変革

スマホ利用を念頭においたモバイルファーストなデザインとコンテンツ。

LINEとWebサイトのシームレスな連携で、マイページ登録情報をもとにしたパーソナライズドでプッシュなサービスを実現

さらに便利に! /

ぴっぴ公式LINEが、あなたの子育てをいつでも応援

「友だち」登録で、いつでもどこでも子育てに必要な情報を持ち出せる!

子どもの年齢に合わせて情報が届く!

チャットボットもできる!

行きたいイベントをブックマーク!

子どもの情報を登録すると

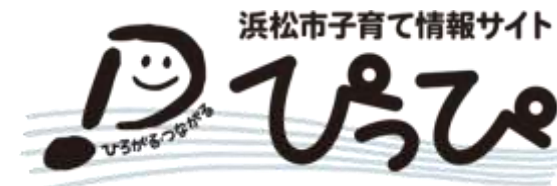
マイページと連携で、年齢や興味に合わせて情報をカスタマイズできる!

DX Point1

マイページ機能 & セグメントメッセージ配信

マイページ登録で出来ること

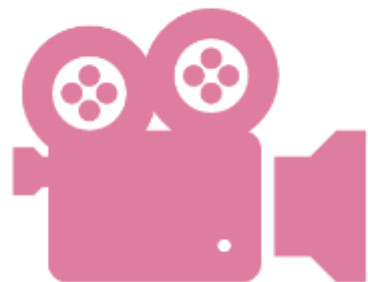
- ① 日替わりメッセージ、子どもの年齢別おすすめコンテンツを表示
- ② 後からでも読み返せるブックマーク機能
- ③ こどもの年齢や興味のあるカテゴリに合わせてLINEメッセージがプッシュで届く



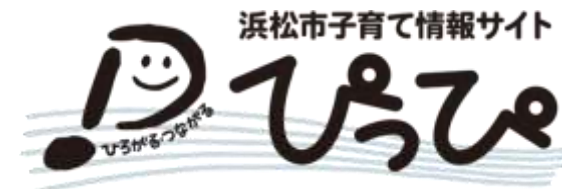
DX Point2

LINEチャットボット

子育ての質問に24時間365日対応



・スマホの操作動画



DX Point3

オープンデータ連携機能



浜松市のオープンデータ34件と連携

保育園幼稚園小学校をはじめとする
約1,000件の子育て関連施設ページの生成

子育てマップ（地図）の表示、
近隣施設を位置情報で検索表示

DX Point3

オープンデータ連携機能

オープンデータから最新の情報を取得し、
サイトに反映

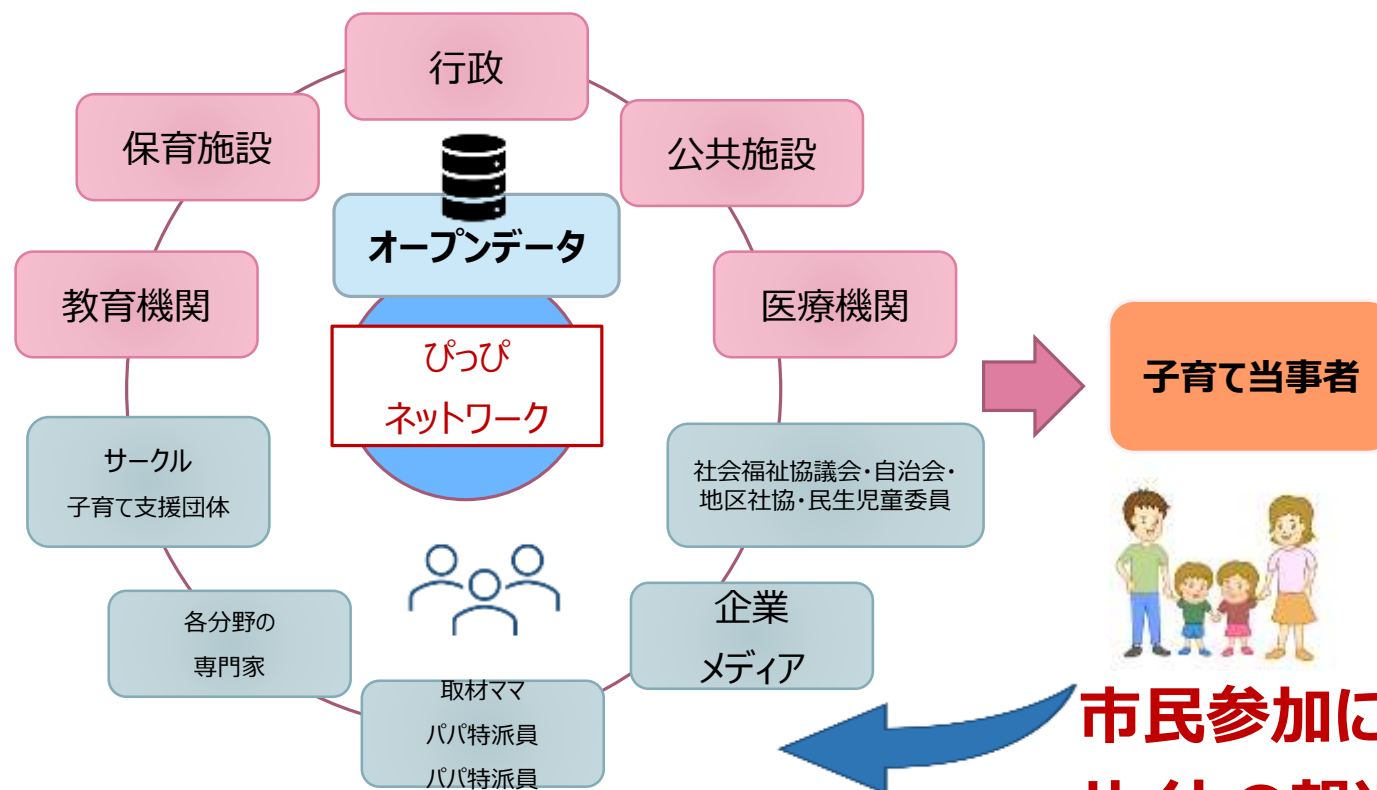
情報の信頼性と迅速な更新

子育て世代のニーズに対応した独自の情報を
付加

認定こども園など保育施設の月の**申込と募集状況**
園の特色や方針、保護者負担額等を**ワンストップ**で見ら
れる



情報収集のしくみ



**市民参加による地域活性化
サイトの親近感、信頼感が向上**

オープンフォトギャラリー

市民参加型のフォトギャラリー

「子どもの記憶に残したい浜松の風景」
「子どもの笑顔」「季節ごとの行事」など

子育て世代のユーザーから写真を募集
応募写真はフォトギャラリーへの掲載と、
トップページのスライドショーの写真に利用

また、投稿者の承諾が得られたものは、
クリエイティブコモンズライセンスのもとに
オープンデータ化



フォトギャラリー



家族で出かけ撮影を通して
「浜松市の良さを再発見」
サイト閲覧者にも浜松の魅力を伝える

スマートスピーカー

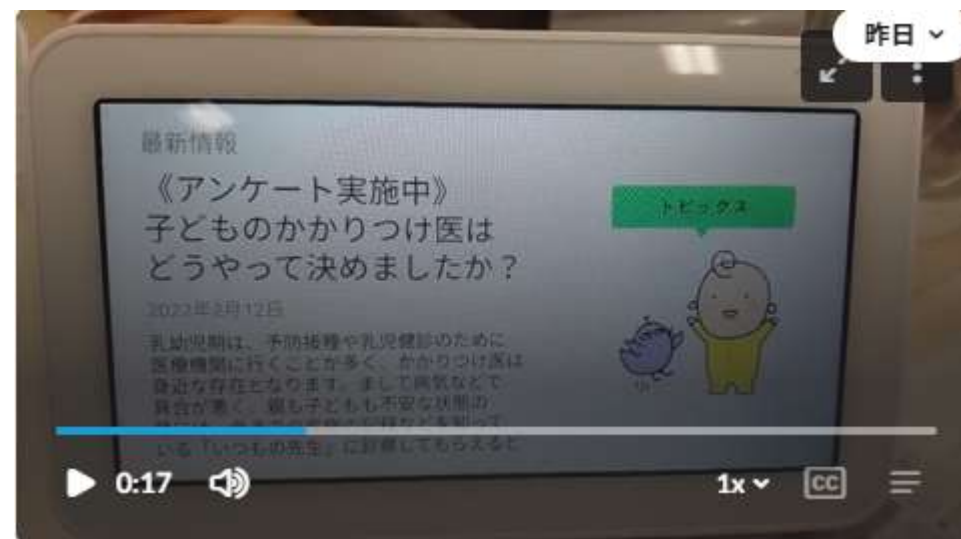
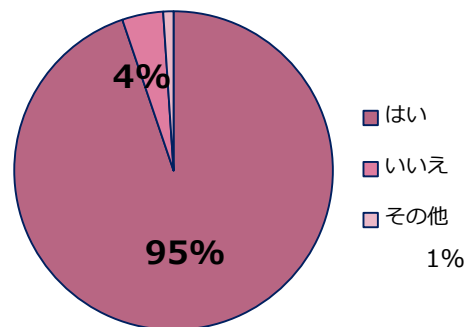
スマートスピーカーの音声による情報提供

Webサイトの新着情報を、音声で聞くことが出来る
時間指定で自動再生も可能

手が離せない状態の時に「声での操作
で情報が得られる」のは便利か？

オープンデータを利用

- 子育て支援ひろばの実施状況
- 休日当番医（小児科）の情報



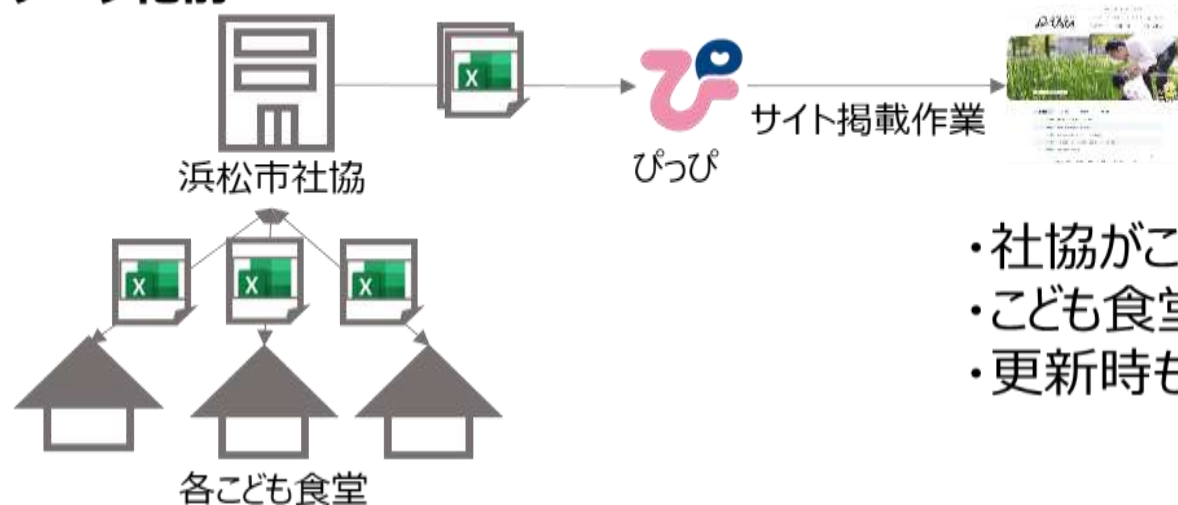
音声情報発信の実証実験 2019年3月～2020年3月

市民モニター100名に、スマートスピーカーを配布し、1年間家庭内での利用状況を調査

利用者の95%が手が離せない状態の時に「声での操作で情報が得られる」のは便利であると回答

特に利用頻度の高い利用者グループでは、90%が生活QOLが上がったと回答

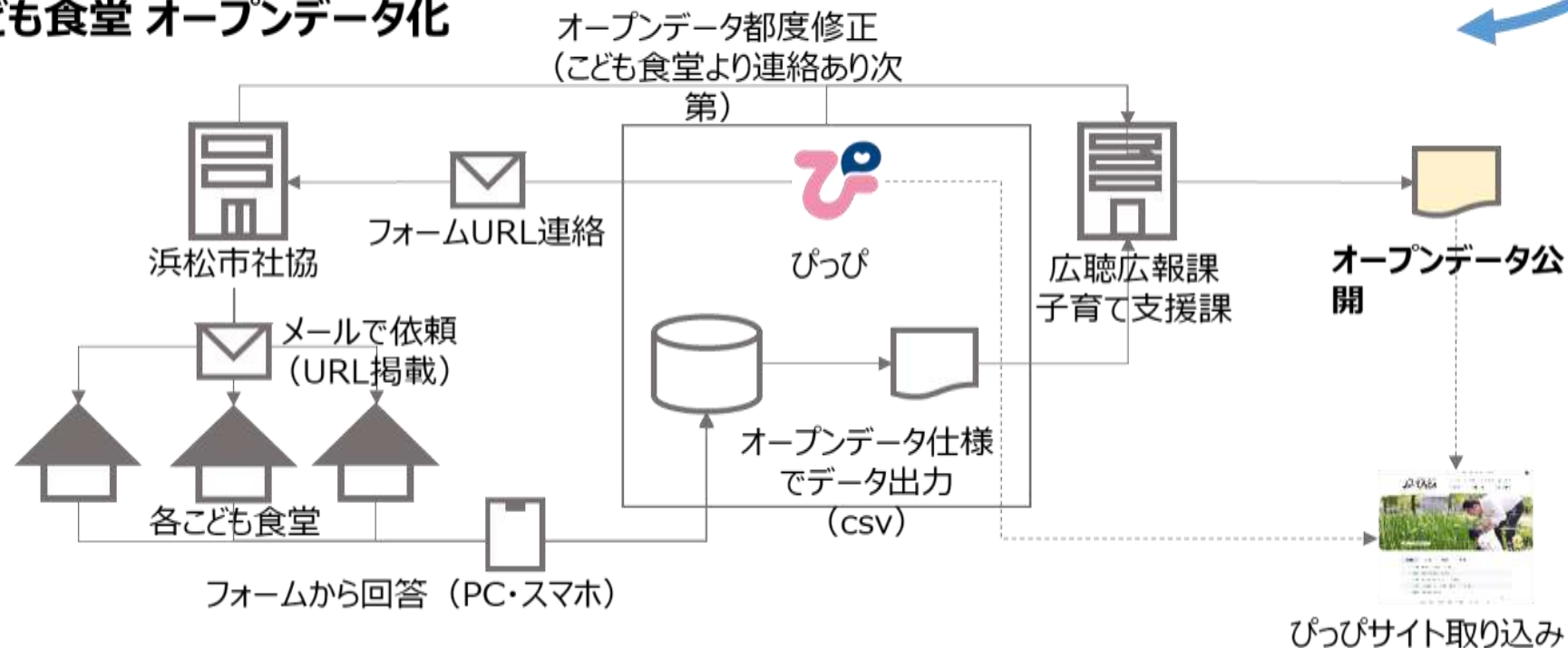
こども食堂 オープンデータ化前



- ・社協がこども食堂1件1件より情報収集
- ・こども食堂の情報が一覧としてまとまっていなかった
- ・更新時も情報がバラバラになり集約できていなかった

集約

こども食堂 オープンデータ化





生活がより豊かに、子育てしやすいまちの実現
Well-being

 認定NPO法人
はままつ子育てネットワーク ぴっぴ

 浜松市



フォトコン #子どもの記憶に残したい浜松の風景 受賞作品より

各委員からの取組発表



教育・子育て分野（教育） 河島委員代理

■取組名称

校務D Xの推進（教育総務課 教育D X推進担当）

■背景・目的

- ・国は、「次世代校務D X」を令和11年度までに実現するとしている
《次世代校務D Xの姿》
 - ☞ 学校における働き方改革（紙ベースの業務からの脱却）
 - ☞ 教育活動の高度化（データの効果的な分析・活用）
 - ☞ 教育現場のレジリエンス（クラウドの活用による継続性の確保）

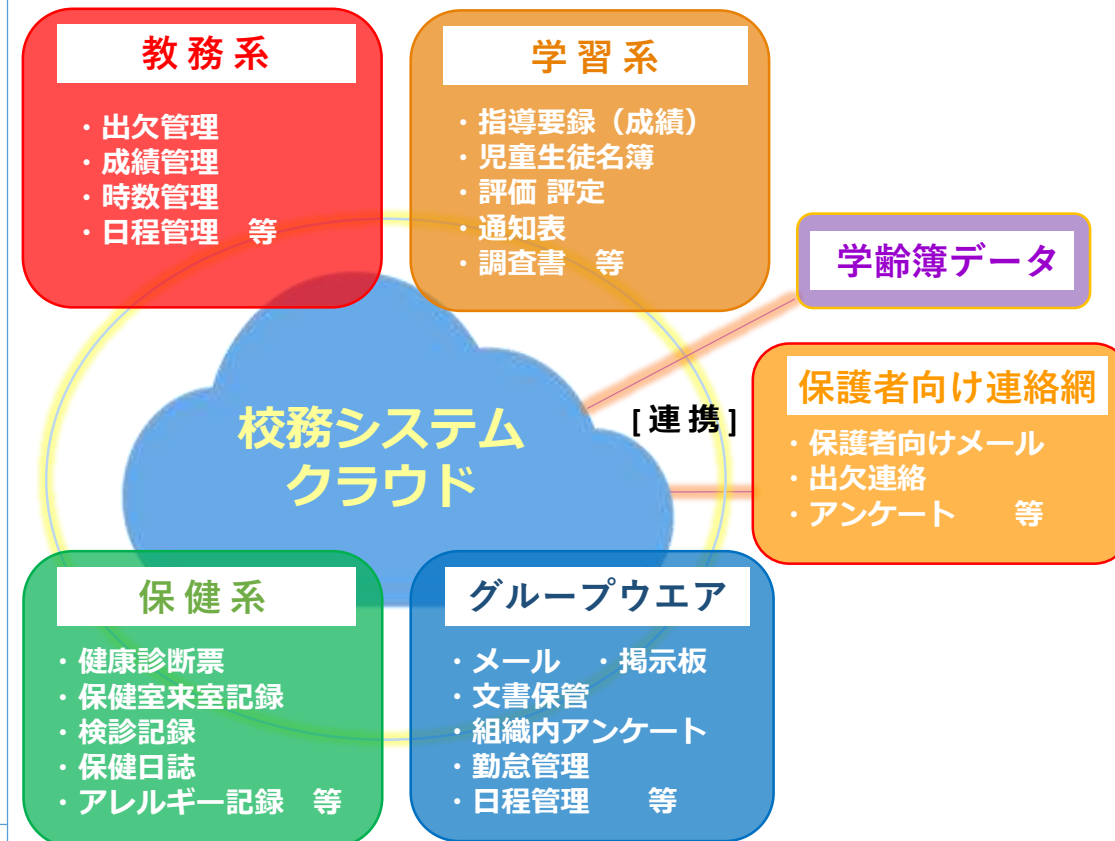
■取組概要

- 統合型校務支援システムを導入し、校務D Xを推進
 - ・令和7年4月より、データ連携を可能とする統合型校務支援システムの運用を開始
 - ・新システムでは、これまで個別のシステムで管理を行っていた情報を連携させることで、効率的なデータ入力と管理が可能
 - ・併せて慣習的に行われてきた業務の再点検や不必要な業務や業務フローの見直すことで、最適な業務の在り方を目指す。
 - ・教師の業務負担を軽減し、働き方改革を実現することで、より良い教育の実現につなげる。
- データの利活用
 - ・これまで別々に管理していた情報を連携させることで、児童生徒の「個人カルテ」、クラスや学校単位で集約した「学級カルテ」「学校カルテ」を作成
 - ・入力されたデータは、リアルタイムで確認することができ、集計値は可視化されることで、子供への理解につなげる。

■今後に向けて

- ・統合型校務支援システムの効率的な活用に向けた研修の実施

■事業イメージ（図、イラスト等）



統合型校務支援システム イメージ図